



ホ号棟地域活動委員会
委員長 水野 孝夫

多摩川住宅の**第42回【団地まつり】**が無事終了しました。

ご協力いただいた階段委員の皆様、自発的に協力を申し出て頂いて、準備から後片付けまでいろいろとお力添えを頂いた皆様には、改めて厚くお礼申し上げます。



今年の【団地まつり】では、ホ号棟は【神輿・山車】を担当しました。そして管理組合では、同時に事務局も担当しました。

昨年的大雨とは違い、今年は天候にも恵まれ、会場はごった返すような大盛況で、7月26日（土）・27日（日）も、入場券を売っていれば満員札止めの状況でした。盆踊りを踊る人もあっちにぶつかり、こっちにぶつかり・・・人の波をかき分けて踊っていました。

ホ号棟自慢の《おでん》も、今年初参加の《母さんのカレーライス》も、あっという間に売れ切れてしまいました。

「おでんを目当てに団地まつりに行ったのに、私が行ったときはもう無かった」という声もありましたが、ホ号棟ではこの自慢のおでんを、四季の行事でまた食べることができると思います。

いつもの**管理組合集会室前の広場で、8月23日(土)の「調布市花火大会を鑑賞する会」でも安くておいしいおでんを売る予定でいます。**

地域活動委員会では、**10月19日(日)の地域運動会**準備に入っています。これも階段委員の皆様、地域住民の皆様にもご協力をお願いしますが、詳細につきましては次号の「清流」でご案内申し上げます。

ホ号棟はみんなの故郷

今年の【団地まつり】に、仲間ですべて《カレーライスのお店》を出した。

老舗のおでんと共に“^{かあ}母さんのカレーライス”もめでたく完売し、無事に店を閉じることができた。

が、それ以上に嬉しいことがあった。

客は若者が多かったが、かわいい小学生時代の顔しか浮かんでこないホ号棟の子ども達が、立派な大人になって帰って来てくれて、母さん達のカレーを食べてくれたことだ。

そして「おいしかった!」「〇〇ちゃんによろしく」なんて、かつての同級生の名前を言って挨拶をしてくれた。

あの小さかった△△ちゃんがねえ〜、こんな立派な挨拶のできる大人になってくれて・・・カレー以上にホットな思いがこみ上げてきた。

又、国領で育って、毎年【団地まつり】にきていたという青年は、店の前に座り込んでカレーを食べながら「うまいねえ〜、母さんの、うまいよー」と、ひとしきり昔話に花を咲かせて、自分の飲んでいた梅チューハイを私達にもおごってくれたのだった。

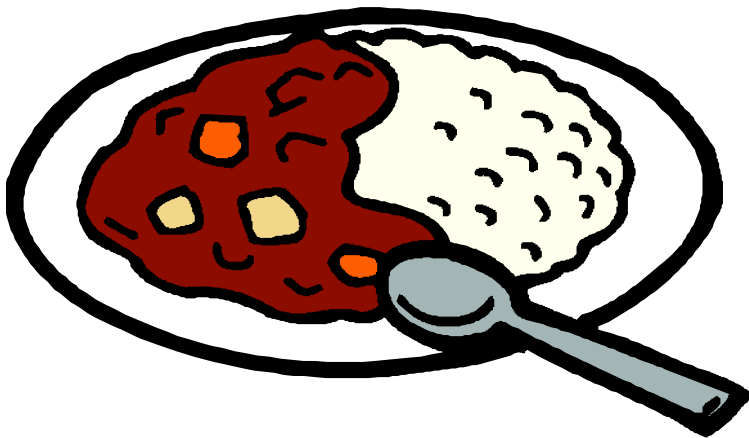
そして、「俺、来年も来るからね」そう言って帰っていった。

“故郷”というのは、風景や味にも感じるのだろうが、“そこに懐かしい人が待っていてくれる”という人への思い、“心のつながり”にこそあるのだと思う。

【団地まつり】最高!

ホ号棟はみんなの故郷だ!

団地まつりの宵に 上山根 百樹



楽しかっただんちまつり

だんちまつりで、だしをひきました。
とちゅうからたいこをたたきました。
さいしょは、きんちょうしてうまくたたけなかつたけど、だんだんじょうずにたたけるようになりました。
夕方に、だんちまつりのおみせやさんに友だちといきました。
ゲームをやったりいろいろなものを食べました。
とても楽しかったです。

3年 かもしだ あやね



だんちまつりで

たのしかったこと

おいしかったこと

うれしかったこと

かきごおりがおいしかったこと
ぼんおどりがたのしかったこと
たいこをひっぱったあと、すいかを食べたこと
こんどは、たいこをたたいてみたい

1年 なごや ともみ